

高校生向け「IT×森林課題アイデアソン」を行いました

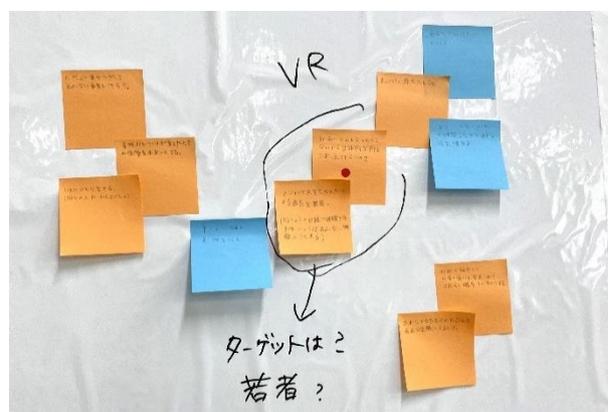
当社の社会貢献活動の一環として当社社員が和歌山県の高校を訪問しました。和歌山県に拠点を置く土砂災害リスクの低い森づくりに取り組む株式会社ソマノベースと共に和歌山県の高校 1 年生、2 年生(合計 22 名)を対象に、「IT×森林課題アイデアソン」を開催しました。

「IT×森林課題アイデアソン」では、当社社員にてデザイン思考の手法をレクチャーしテクノロジーを活用した森林課題の解決方法について高校生にアイデア出しをしてもらいました。

グループごとに分かれ、課題解決するためのアイデアをプロトタイピングし、最後にプレゼンテーションを行いました。全グループの発表後、株式会社ソマノベースと当社社員が審査し、魅力的なアイデアを発表した 2グループを優秀賞として表彰しました。



アイデアを段ボールや紙を使って作成する、プロトタイピングに挑戦しました。実際に手を動かしてプロトタイプを作ることにより、ユーザーが現場でどうやって使うかなど、アイデアの実現性を高めていきます。



アイデア出しの様子

ワークの合間に、株式会社ソマノベースの奥川代表による森林課題のレクチャーや、当社社員による世の中のテクノロジー活用事例などを交え、解決策をまとめてアイデアの種を作りました。

最終発表では、森林への関心度を高めるための新たなレジャー施設として水族館ならぬ「森族館」の提案や、林業の担い手不足を解決するためにVRを使って育成するアイデアを優秀賞として表彰しました。その他に、人が作業しづらい斜面での下刈りを自動でできる山のお掃除ロボットや、ドローンを使って山の危険個所を判断するアイデア、空き地を植林地に活用しAI技術で管理するスマート林業など、自由な発想の様々なアイデアが発表されました。

